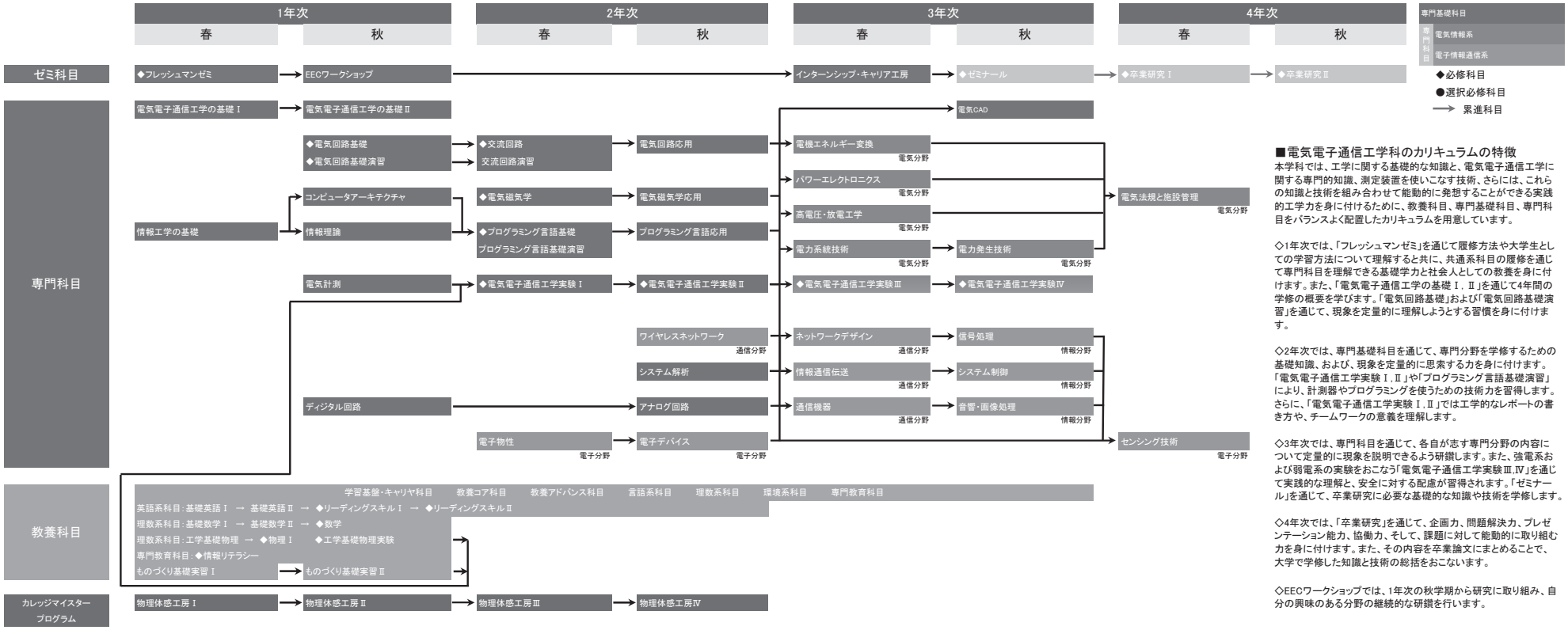
基幹工学部　電気電子通信工学科　カリキュラムマップ



■電気電子通信工学科のカリキュラムの特徴

本学科では、工学に関する基礎的な知識と、電気電子通信工学に関する専門的知識、測定装置を使いこなす技術、さらには、これらの知識と技術を組み合わせて能動的に発想することができる実践的工学力を身に付けるために、教養科目、専門基礎科目、専門科目をバランスよく配置したカリキュラムを用意しています。

◇1年次では、「フレッシュマンゼミ」を通じて履修方法や大学生としての学習方法について理解すると共に、共通系科目の履修を通じて専門科目を理解できる基礎学力と社会人としての教養を身に付けます。また、「電気電子通信工学の基礎Ⅰ，Ⅱ」を通じて4年間の学修の概要を学びます。「電気回路基礎」および「電気回路基礎演習」を通じて、現象を定量的に理解しようとする習慣を身に付けます。

◇2年次では、専門基礎科目を通じて、専門分野を学修するための基礎知識、および、現象を定量的に思索する力を身に付けます。「電気電子通信工学実験Ⅰ，Ⅱ」や「プログラミング言語基礎演習」により、計測器やプログラミングを使うための技術力を習得します。さらに、「電気電子通信工学実験Ⅰ，Ⅱ」では工学的なレポートの書き方や、チームワークの意義を理解します。

◇3年次では、専門科目を通じて、各自が志す専門分野の内容について定量的に現象を説明できるよう研鑽します。また、強電系および弱電系の実験をおこなう「電気電子通信工学実験Ⅲ,Ⅳ」を通じて実践的な理解と、安全に対する配慮が習得されます。「ゼミナール」を通じて、卒業研究に必要な基礎的な知識や技術を学修します。

◇4年次では、「卒業研究」を通じて、企画力、問題解決力、プレゼンテーション能力、協働力、そして、課題に対して能動的に取り組む力を身に付けます。また、その内容を卒業論文にまとめることで、大学で学修した知識と技術の総括をおこないます。

◇EECワークショップでは、1年次の秋学期から研究に取り組み、自分の興味のある分野の継続的な研鑽を行います。